
本物のレンガの外観で街を美しく！ 本物のレンガの外壁で、賃貸住宅・賃貸併用住宅の常識を覆す！ 横浜の地元工務店で新商品『Britec』が本格始動！

この度、株式会社せらら工房（神奈川県横浜市港南区／代表：佐藤宏亮）は、本物のレンガを手積みした賃貸住宅「Britec- ブリテック -」を開発。2018 年より、本格的に販売をスタートさせる。これまでの、建てては壊しという日本の住宅事情の常識をぶち壊し、ヨーロッパの街並みのように、永く住み継がれるという“古き良きものを大切”にした、資産価値の高い、本物にこだわった家づくりを目指す。



◆人生 100 年の時代。レンガの家は、日本を救う！景観の良さは地域の美化にも。

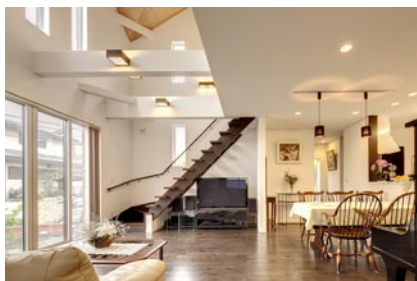
【せらら工房の「レンガの家」とは】

日本の住宅の平均寿命は約25～30年。しかし、ヨーロッパでは当たり前のように、100 年以上も家が引き継がれています。人生100年の時代。働き盛りで住宅を購入した人たちが、定年退職の頃には家が傷んでいきます。果たして、老後の年金生活の中で多くの費用を建物に費やすことができるのでしょうか？ 50歳を超える頃から、暑さ寒さも身体に堪え、耐震強度も心配です。お金が必要なのに収入が減る老後にこのような状態では決して幸せな生活は送れません。

せらら工房が手掛ける、レンガの家は、外壁のメンテナンスが不要で、夏涼しく冬暖かく過ごすことができる「百年健康住宅」です。現にレンガの建築物は日本でも100年の月日を超え、佇んでいます。東京駅や横浜赤レンガ倉庫、富岡製糸場など、その数は数えきれず、国の文化財としても数多く指定されています。

【レンガで建てる、賃貸住宅とは】

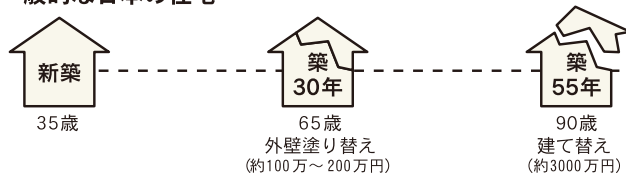
賃貸住宅で最も注意をしなければ失敗してしまうのが、建物の修繕費です。建ててから10年、20年後、せっかく家賃収入を得ても、世帯数が多い分、修繕費が高くつくのが一般的です。レンガ積みの家「Britec」であれば、外壁がメンテナンスフリーのため、外壁の塗り替えに掛かる費用が一切掛かりません。年が経つほど味わい深くなる家です。また、入居してくれる人も、やはりステータスのある家に住みたいもの。年を経るごとに味わい深くなるレンガ積みの家は、老若男女好まれ、街を美しくする住まいです。



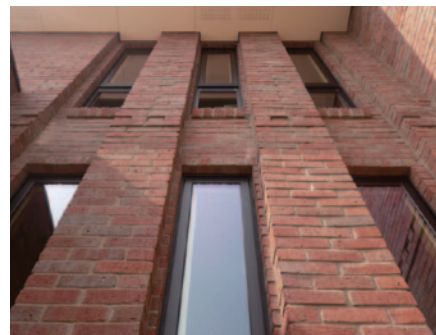
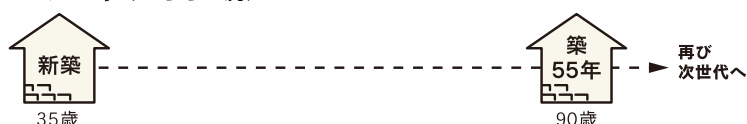
【今後の抱負】

横浜ならではのレンガ造りを、もっと世に広めていきたいです。様々な住宅が溢れかえっている日本ですが、街を見回すと統一感がなく、建て替えばかりに費用が掛かり、住宅貧乏に陥る（住宅ローンの支払いに追われる）人が少なくありません。私達の、横浜ならではのレンガの街づくりが、今後の日本の住宅業界を支える！という思いのもと、より発展を目指して参ります。

● 一般的な日本の住宅



● レンガの家（せらら工房）



【会社概要】

会社名 株式会社せらら工房
代表取締役 佐藤 宏亮
建築業許可 神奈川県知事（般-18）第71029号
所在地 横浜市港南区港南台4-27-10
TEL 045-833-2644（広報担当：田畑）
ホームページ <http://serara.jp/>



代表取締役の佐藤



モデルハウス（横浜市港南区）

《リリースに関してのお問い合わせ先》
株式会社せらら工房
〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台4-27-10
TEL. 045-833-2644 FAX. 045-833-2789
担当：田畑 友浩（広報）